

駅頭・議会リポートで区政報告

定例会ごとの報告を発行し、
ポスティングでお届けしています。



脱原発アピール



PCR検査拡大を要望する署名行動



座談会



写真↑は2020年2月

労働相談・生活相談 呼びかけ



生活相談・食料配布支援



活動の一部を
紹介します。

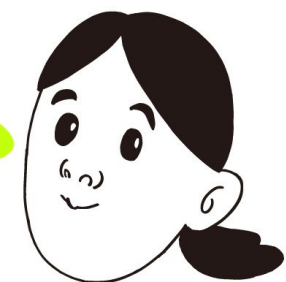
みずま雪絵のプロフィール

1984 年お花茶屋生まれ
区立上千葉小学校・区立青葉中学校卒業
都立墨田川・堤高校卒業 東京福祉専門学校卒業
2004 年～葛飾区内の介護老人保健施設・
訪問介護事業所に勤務
2013 年～葛飾区議会議員 2017 年～2 期目
★介護福祉士 ★ユニオンネットお互いさま副委員長
★趣味：ソフトボール



葛飾区議会議員

みずま雪絵の 号外 区議会リポート



〒125-0063 葛飾区白鳥 3-26-13 中村荘 101

TEL 03-6662-7623

FAX 03-6662-7617

e-mail info@mizuma-yukie.org

HP http://mizuma-yukie.org

働く人を大切にする葛飾区へ 労働報酬下限額など労働条項を定めた公契約条例に

2021 年 3 月葛飾区公契約条例が制定されました。区が発注する公共工事等で働く人の「最低賃金の支払い義務」を定めない「理念型条例」でスタートとなりました。これまで、みずま雪絵は一般質問などで、労働条項を定めた公契約条例制定を求めてきました。今後も区の事業を請け負う事業者や下請け事業者で働く人へのしわ寄せを防ぎ、低賃金雇用を生まない区政運営を求めています。

区民の税金は 区民の命とくらしへ

駅前再開発事業への区の支援のあり方を問う

リリオ亀有リノベーション事業の年に約一億円の負担金歳出(10 年協定)、金町六丁目駅前地区の再開発ビルフロア、約 15 億円で買い入れる等、再開発事業を成り立たせるための税金投入は見直すべきです。葛飾区の駅前再開発事業への税金投入について、問いかけ見直しを求めています。

人材不足となっている介護従事者の処遇改善、災害対策の強化、生活困窮者支援の強化等、優先すべきことがあります。

安心して地域で生きていくために

- 「つらい」「困った」「心配」を共に考え、解消していく
- ◎香害、化学物質過敏症の周知、規制への働きかけ
- ◎生活保護制度、困窮者支援への相談・申請をためらわずに行えるよう広報の改善や、情報周知の拡充
- ◎羽田空港新飛行ルートの見直し、騒音・落下物対策
- ◎あらゆる差別の解消(ジェンダー平等・同和対策等)



コロナ禍、その後も区民のくらしを支えるために

コロナ禍で、生活困窮の拡大が顕著となり、支援制度の拡充や給付金支給が行われています。この中で、生活支援施策や福祉、雇用等での問題点も露呈したのではないのでしょうか。その一つとして、『情報が届いていない』という決定的な課題がより可視化されました。今年第1回定例会一般質問で、様々な媒体を使って区民が様々な場所で支援施策と相談先を知ることができる環境を整えることを求めました。区からは「今後、よりきめ細やかに情報周知を行っていくことを全庁で共有し、区民に必要な情報が十分伝わるよう一層努めていく。」と答弁がありました。

SNSでの発信や、区のホームページのトップに、「**生活にお困りの際には、ためらわずにご相談ください**」とメッセージが出され、相談先のリンクに繋がりがやすくなり、改善が見られました。また、公共施設等へポスター掲示などでの周知も求め、2021年7月に他会派と共同で区長へ要望書を提出しました。



2018年から始まったリリオ亀有の公民連携事業

公共と民間の役割を明確に

概要 亀有地区のにぎわい創出、リリオ館の集客・収益のアップを目的に、リリオプロジェクトとして葛飾区・都市再生機構(UR)・リリオ亀有の管理会社の3者で2017年に協定を結びました。区の施策でない民間での絵本事業として、収益を上げにくい事業だからと、10年間にわたり葛飾区が年約1億円を負担するものです。

- ① 公共事業と民間事業の違いとは、その事業が利潤追求を目的としているか否かにあるものと考えている。(2018年第1回定例会みずまの一般質問に対し、区の答弁)
- ② 「経済・市場の変動があるために検証(収益・集客のシャワー効果)が困難」(2020年第3回定例会決算審査で、みずまの質疑に対する答弁)

利潤追求を目的とする事業で、税金投入の効果・検証も困難なことに区民の税金を使い続けることが区民にとって良いことなのでしょうか。

みずまは、この事業について、区の税金の使い方がおかしいのではないかと問い続けてきました。亀有駅南口地区は、葛飾区で最初に駅前大規模再開発が行われた場所です。葛飾区が進める駅前再開発事業のあり方という側面からみても、このような税金投入を推進すれば、後に区民の大きな負担になると考えます。「公民連携」と言われる事業への税金投入は慎重に見極める必要があります。公共と民間の役割は明確にしていきたいと思います。

『香害』をご存じですか

『香害』は柔軟剤や消臭剤、芳香剤等、人工的な香り付き商品などに含まれる化学物質による健康被害です。誰もが起こりうる健康被害です。

一度に大量の化学物質にさらされたり、低濃度の化学物質に繰り返しさらされると「化学物質過敏症」を発症することがあります。症状は、頭痛・めまい・吐き気・目のかすみ・倦怠感・うつ等です。化学物質過敏症を発症し、職場に行けなくなる、学校に行けなくなるという深刻な状況も少なくありません。日本では、10人に1人が何らかの化学物質に対する過敏症状があるとされています。

日本で売られている合成洗剤などの香料の物質名は、企業秘密として表示がされていません。商品への表示、規制を含め求められていますが、国は後ろ向きです。

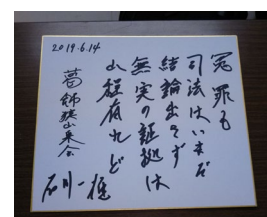
多くの人に香害について知って頂き、消費行動を考えていくことが必要です。

2020年第1回定例会で「香害」について、広報や公共施設等での周知・啓発を求めました。葛飾区では、チラシが作成され、各地区センター等へ配布、広報や区のHP掲載で周知がされています。今後もチラシの改善、周知・啓発の拡大を求めます。



子どもや高齢者、マイノリティが生きやすい社会は、誰にとっても生きやすい社会です。地域から、ジェンダー平等社会を目指し、あらゆる差別に反対します。

葛飾区では、被差別部落出身であることを理由に、結婚や就職等の社会的な差別に対し、解消をする取り組みをしています。



部落差別が根底にある冤罪事件として、狭山事件があります。石川さんの無罪を証明する為に再審請求が行われています。(写真は2019/6 葛飾区同和対策仮奥戸集会所)



男女平等推進センターにて世界各国で、女性解放運動や男女平等推進の広報に使われたポスターの展示会を地域の女性たちと開催(2019/8)

会 派	自民	公明	区民	共産	か維	無所属	無所属	無所属	無所属	みずま	無所属
同性カップルの「パートナーシップの公的承認」に関する請願	×	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○

2018年第2回定例会で同性カップルの「パートナーシップの公的承認」に関する請願が賛成多数で採択されました。同性同士で生活する者も家族として扱うパートナーシップの承認制度の創設を進めます。

